

e-Learning 推進部会（第6回）議事メモ（案）

日 時 令和6年2月8日（木）13:30～14:30
場 所 中会議室
出席状況 松川学長、久世、木幡、谷、野口、森田、笠井、清水、横山、村瀬、黒見、入江、瀬戸、河原、山中、齋藤（陽）、佐々木、吉水、長浜、橋詰

1. プレゼン資料並びに動画作成の進捗状況（提出1月31日〆切）について
 - ・ Web サイトの資料にもとづいて、プレゼン資料、動画の提出状況および、テキスト、科目ガイドブック、タキソノミーテーブルの状況の説明があった。
 - ・ 久世遠隔通信教育部長より、提出の状況については、適宜、Web サイトを確認していただき、未提出の科目については、早めに提出するよう指示があった。
2. e-Learning プラットフォームの構築について
 - ・ 久世遠隔通信教育部長より、e-Learning プラットフォームの現状の紹介があり、2月29日をめどに構築を進めているとの説明があった。
「Multi Campus One Digital University」→「学科・専攻・専修等」→「e-Learning」
 - ・ ガイドブック、テキスト、プレゼン資料、動画を使用して構築された、e-Learning コンテンツの紹介があった。
3. e-Learning-サイトの確認並びに検証について
 - ・ 久世遠隔通信教育部長より、「e-Learning 科目 e-Learning-サイトの確認並びに検証」の資料にもとづき、確認の視点の説明があった。
4. 来年度の e-Learning 構築科目(15 科目)について
 - ・ 来年度の e-Learning 構築科目の構成の検討について説明があった。大学の戦略をもつて、科目構成を考えることが必要。その戦略の方向性は、大学の新たな展開に結びつけることが重要。
 - ・ 久世遠隔通信教育部長より、3月28日までに来年度の e-Learning 構築科目を提出するよう指示があった。
 - ・ 学長より、来年度の e-Learning の構築について下記の意見があった。
各学科専攻で単純に、多くの先生に広げることは、困難があると思われる。e-Learning を構築することが目的ではない。大学の計画にそって、まとを絞って科目を検討することが必要と思われる。

5. その他

- 学長より、e-Learning の構築には、ち密な計画と多く苦労が必要であり、今回、作成されている各先生にお礼が述べられた。
- 動画の作成について、パワーポイントから作成したものでも良いかとの質問があり、大丈夫との回答があった。
- e-Learning の受講者に対して、個別に試験問題を配布することが可能かとの質問があった。試験問題等の個別の配布は、現状では困難であり、サイボウズ等を併用して行っ
てはどうかとの回答があった。

次回の会議 令和6年3月28日（木）をめどに調整することとした。